



# 学校だより

11月号

令和2年10月30日

さいたま市立植竹小学校

〒331-0813 さいたま市北区植竹町2-1

TEL 048-663-7627

FAX 048-663-9885

E-mail uetake-e@saitama-city.ed.jp

学校教育目標 ○すすんでまなぶ子 ○たすけあう子 ○げんきな子

児童数 745名

褒めて育てる

校長 野津 美智代

10月の全校朝会で、命の大切さと他者を思いやる心について子どもたちに話をしました。その中で、『植竹小学校をポカポカ言葉でいっぱいにしていきましょう』と呼びかけたところ、校長室前、昇降口前の掲示板は子どもたちが書いてくれた『ポカポカ言葉』でいっぱいになりました。

○いっしょにあそぼう！

○だいじょうぶ？

○いつもありがとう。

○みんなでのりきろうね。

○がんばれ！きみならできる！

これらを読んでいるだけで、心が温かくなってきます。



さて、日常生活を思い返してみると、子どもに対して、大人は褒める言葉よりも注意をする言葉（叱る言葉）の方が多いと感じます。しかし、子どもは注意されたり叱られたりすることばかりだと、自分に自信がなくなってしまいます。大人はどうしても、子どもの悪いところに目が行きがちですが、何でも完璧にできる人間はいません。

子どもの気になる行動を、例えば、こんなふうに考えてみてはいかがでしょうか。

行動が遅い子→じっくり考えてから行動できる子、物事を丁寧に実行する子

片付けられない子→周りが気にならない子、次から次へと他のことに興味がわく子

叱られてもなかなか改善しない子→物事にこだわらない子、おおらかな子

その上で、子どもの気になる行動を改善させたいときは、具体的な方法を子どもと一緒に考えてみてください。

例えば、片付けられない子には、机の脇に箱を用意してそこに必ず入れるなど、どの方法だったら、比較的簡単にできるか子どもと相談しながら決めるのがよいと思います。

そして、できたら褒める。子どもにとって、《褒められる→気持ちよく行動できる→頑張れる》というよいサイクルが生まれ、自信をもって行動できる子になるでしょう。

子どもも笑顔、家族みんなも笑顔。『褒め言葉』を意識してたくさん使ってみましょう。